

# 医療機関に支援、各県でも

# 条約発効までもう二歩

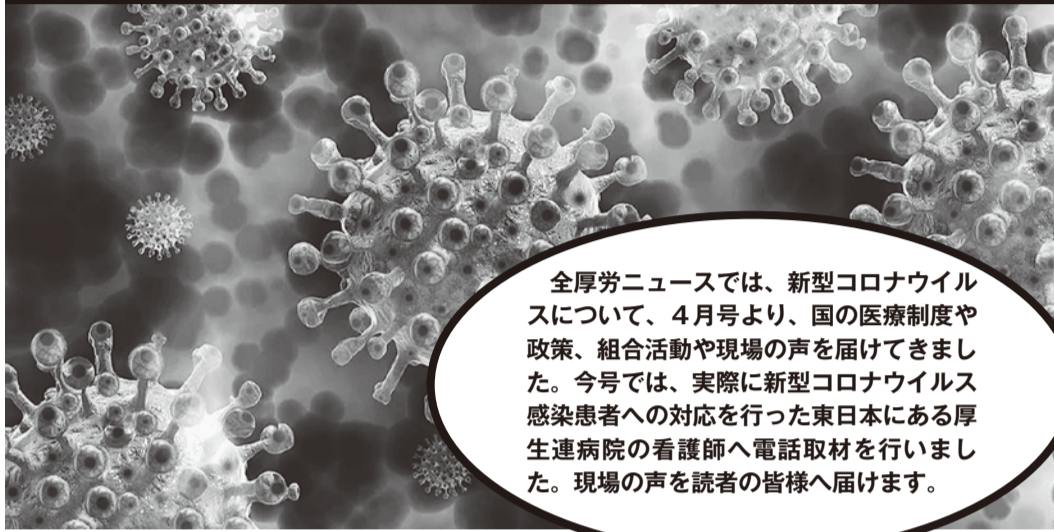
3面  
原水禁

経営者はコスト削減のため、  
（2面へ続く）

# 全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会  
厚生連  
〒110- 東京都台東区入谷  
0013 1-9-5  
TEL 03-3874-3591  
FAX 03-3874-3593  
発行日 毎月20日 定価 30円  
https://www.zenkouro.org/

# 新型コロナ対応看護師



全厚労ニュースでは、新型コロナウイルスについて、4月号より、国の医療制度や政策、組合活動や現場の声を届けてきました。今号では、実際に新型コロナウイルス感染患者への対応を行った東日本にある厚生連病院の看護師へ電話取材を行いました。現場の声を読者の皆様へ届けます。

# リアルな訴え

ました。  
転院2日  
目で人工  
呼吸器、  
3日目で  
人工心臓

## 徐々に人手不足へ

当院では当初、EICU内の2つの陰圧室で重症者対応を行いました。1月から受け入れのシミュレーションや道線の確認を行い2月に患者を受け入れ。すべてが初めてで「どうやってやったらいいのだろう」という感じで必死に対応しました。初めの感染者対応は師長さん達で回していましたが、重症患者が増えるにつれ1人に対して陰圧室の中と外で2人の看護師が必要となるため、次第に回らなくなり、3月下旬には1病棟をつぶして一般職員を振り分けて対応、4月からはSCUでも重症患者を受け入れるようになりました。

## コスト優先で負担増

4月後半に他病院の軽症患者が重症化しそうという事で、当院に転院してき

（V.I.V.E.C.M.O）での治療となりました。人工心臓は偶然にも12月のコロナ拡大前に肺炎重症者の治療で診ていたので覚えてはいましたが、陰圧室への入室人数を最小限に抑えるために、臨床工学技士にすぐ助言を求められる環境とはいえず、看護師が管理せざるを得ない状況に、「ほんとに大丈夫なのか」と不安を感じながら管理を行いました。

またフルPPEなどの装備品が足りなくなるので、陰圧室に入る人員を最小限に抑え、かつ入っている時間を長くすることで装備品を節約しましたが、当初はタイベックを着て長い時間で4時間も対応していました。体温管理が必要な患者の時は、暖房をつけていたので、指先に汗がたまり、着ている服は汗でびしょり、トイレや給水もできませんでした。現在は、多少物資不足が改善され、フルPPE装備も軽くなったことや、患者対応の経験を積んで効率よく看護ができるようになり、少し負担が軽減されています。

## 国の援助足りず

コロナ対応チームの担当医はとても熱心な方で、勤務時間外もほぼ休まず、アメリカの論文や事例を参考に、看護師とディスカッション

# 東京女子医大病院(続報) 夏季一時金1ヵ月支給へ

東京女子医科大学病院が全職員に対して夏の一時金ゼロ回答から一転、全職員へ本給の1ヵ月を支給することを、労働組合との団体交渉で回答した。

6月の夏季一時金ゼロ回答以降、多くのマスコミに取り上げられた。しかし、マスコミの多くは「夏期一時金支給ゼロ・大量退職希望」という一面だけを報道したことに、当該労組は7月16日、「単に『夏期一時金ゼロ』が理由で退職を希望しているのではない」とする見解を示した。見解では、この間の一連の問題は、「コロナでの収支悪化=人権費削減」という単純なものではなく、大学理事会が、『設備投資優先=教職員の待遇改善無視』という経営姿勢を強めてきたこと、5年間で私立医科大学の中でも極めて例のない「大掛かりな人件費削減」が行われ、職員への傲慢かつ一方的な運営や対応、そして忖度人事が繰り返して行われてきたことが要因と説明。その最後のダメ押しが今回の問題で、その対応にはさすがに労働組合だけでなく、多くの教職員も堪忍袋の尾が切れ、組合ホームページへの書き込みも増え、またSNS等での批判が拡散していったとしている。この問題で全国から抗議FAX、また、当該労組への激励FAXが送られた。6月以降、現在も労組への加入が広がっている。

# 第1回オンライン医療研 9月13日(日) 11:00~12:00 「働きがいを見出すための私たちの休み方改革」

医療研運営委員会は、「コロナ禍だからこそ医療研運動の推進を」とオンラインセミナーを開催します。1回目は昨年開催した第36回医療研究集会での第2分科会を1時間でコンパクトに学べるセミナーです。仕事との向き合い方、職場の問題解決方法等々、交流から見出してきた第2分科会。「医療研究集会に参加したことがない」方や、「医療研って何をしているの?」という方も参加しやすい分科会です。まずは覗いてみませんか? 運営委員一同お待ちしております。



第36回集会in潮来 第2分科会のようす

参加費：無料  
申し込み：各県労組へ

# コロナ 第2波・第3波に向け

# 医療継続へ財政支援を強めて

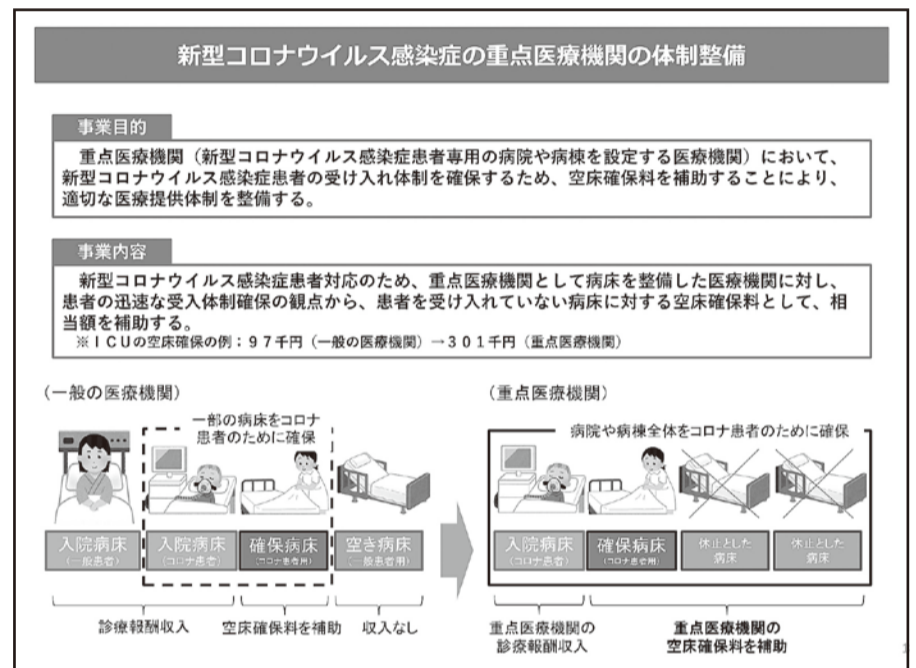
## 医療従事者・機関への新型コロナ・県独自支援策一覧

※各種ある支援策の内、医療従事者・機関への支援に限る、厚労省・内閣府など「国」で一律に行っている施策は除く、融資や貸付などは除く  
※全厚労加盟労組の存在する県のみ記載

医療従事者・介護従事者への支援	
北海道	・長時間の勤務等により帰宅が困難となる医療従事者を支援 宿泊費上限 1泊1万円/名
福島県	・医療機関や社会福祉施設に勤務する職員へ慰労金支給、患者と接する看護職員等の医療従事者を支えるため、特別手当（3千円、4千円）や宿泊手当（1泊1万円まで）を支給（一部県独自）
富山県	・富山県新型コロナウイルス対策応援基金 一県内外から寄付金の募集。医療従事者への支援、医療用防護具・機器の整備などに活用
静岡県	・新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金 一医療従事者等への応援金の支給、高齢者・障害者・児童福祉施設等の従事者や妊婦の方の感染症検査体制の充実、そのほか県民生活への支援などに活用。支援の第1弾として、国の補正予算に先駆け、6月までに医師、看護師、スタッフなど医療従事者の皆様への応援金として、県内20病院に、5,700万円余りを7月31日に支給予定。その後も準備が整い次第、順次支給。
愛知県	・愛知県医療従事者応援金 一県民などから寄付を募る。交付対象：新型コロナウイルス感染症患者が入院した医療機関。交付額：入院患者1人当たり（軽症・中等症）：100万円、人工呼吸器を装着又はICUで対応した場合（重症）：200万円、ECMO（体外式膜型人工肺）を装着した場合（重篤）：400万円
三重県	・新型コロナウイルス感染症患者又はその疑いのある者の診察、看護業務等の作業やPCR検査の検体採取等の作業を行った医療機関の医療従事者にクオカードを配布。5日以上・5万円分、1～4日・3万円分
広島県	・新型コロナウイルス感染症の対応に携わる医療従事者に特殊勤務手当を支給した医療機関に対し補助【新型コロナウイルス感染症対策基金充当】
山口県	・帰宅困難な医療従事者に対する入院医療機関の宿泊施設確保の取組への補助
徳島県	・県医療従事者支援事業（危険手当支給に係る補助等事業）：帰国者・接触者外来、入院患者受入医療機関、宿泊療養施設等で、「2.対象者」に対し、特殊勤務手当（危険手当）相当分を支給した医療機関等対象。医療機関等が特殊勤務手当（危険手当）を支給した実績に基づいて、一人当たり日額3千円を上限として補助、感染症患者等の身体に接触して又はこれらの者に長時間にわたり接して行う業務等の場合は、日額4千円を上限として補助。
高知県	・新型コロナウイルス感染症対応医療従事者処遇改善交付金：新型コロナウイルス感染症の患者又はその疑いのある者に接して行う作業その他知事がこれらに準ずると認める作業、患者等の身体に接触して行う作業又は患者等に長時間（概ね1時間以上）にわたり接して行う作業その他知事がこれらに準ずると認める作業
医療機関・介護事業所への支援	
北海道	・施設内集団感染を防ぐため、介護施設、障害者福祉施設、児童福祉施設などにおける衛生用購入や個別化改修・換気設備等の整備を支援 ・介護施設：マスク、消毒液等
秋田県	・感染症に対応した医療提供体制の確保や、患者の受入体制 ・事業内容 患者搬送コーディネーターチームの設置、高度な医療機器を扱う医師の派遣等 ・安定的な医療提供体制を維持するため、医療資材や感染拡大防止に要する設備を確保 ・新型コロナウイルス感染症の発生により増大している介護従事者の負担の軽減や業務の効率化のため、介護サービス事業者による介護ロボット等の導入経費 ・補助先介護サービス事業者 補助率1/2（県10/10） ・補助額・移乗支援、入浴支援機器100万円/台、見守り支援機器（通信環境整備を含む）300万円 ・ICT機器（事業所規模に応じて）100万円～260万円、限度額300万円/事業所
福島県	・感染患者の重症化防止や感染防止のための設備整備支援、医療従事者等の感染防止のために必要となる物資を調達 ・空床や一般外来診療への損失補填により、感染患者の入院病床を確保（一部県独自） ・病床確保支援金や外来診療体制支援金（一部県負担）
三重県	・三重県新型コロナウイルス感染症対応資金 一融資対象：売上高減少前年比5%～15%以上（1か月実績+2か月見込）。融資限度額：4,000万円。利率：1.6%（一定の要件を満たす場合、当初3年間無利子）。
広島県	・入院病床確保のため、医療機関に対して必要な費用を補助 ・医療従事者の宿泊施設を確保する費用 ・感染者等を診察した医療機関において消毒を行う費用を補助 ・在宅の重症心身障害児(者)や、介護者等が新型コロナウイルス感染症に感染した場合に、継続した医療的ケアや障害福祉サービスの提供を行うための体制を整備等
大分県	・感染防止対策補助金 一【補助対象施設】病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、助産所、高齢者福祉施設、保育施設等。【補助率】10/10（施設ごとに定める上限額以内）。【補助対象経費（例）】○感染防止のための物品購入経費（HEPAフィルター付きパーティション、サーマルカメラ、車椅子型）→アイソレーター、空気殺菌装置、サージカルマスク、消毒液。○感染防止のための施設改修経費→面会室の改修、多機能型簡易居室の整備。○定期的な消毒のための経費→消毒等に係る超過勤務手当等の割増賃金。○感染防止対策を学ぶ研修受講経費 等 ・信用保証付き無利子融資・信用保証付き融資
その他	
北海道	エールを北の医療へ！医療従事者等への支援や医療用資材の整備などに充てる寄附金を募集
茨城県	新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援金
埼玉県	・新型コロナウイルス感染症対策推進基金：(1) 医療従事者や医療機関の活動支援など医療提供体制の整備、(2) 検査体制の強化など感染拡大防止を目的とした事業、(3) 中小・小規模事業者への支援など県経済の回復及び活性化を目的とした事業
神奈川県	・かながわコロナ医療・福祉等応援基金：新型コロナウイルス感染症対策のために医療・福祉・介護の現場で働く方や、そうした方々を支えるボランティア団体などを支援する取組み、支援の原資として、県民・企業の皆様からの寄附金を募集。

(日本医労連調べ、20.8.4時点)より抜粋

政府は第2次補正予算において、新型コロナ禍での医療体制維持のために、総額2兆円規模の緊急包括支援交付金を確保しました。主なものには、7月号掲載の「慰労金」の他、コロナ病床確保対策としての空床確保予算（下図）や救急・周産期・小児医療機関を対象にした感染防止対策費用が計上されました。多くの病院でコロナ対策での費用増や受診抑制、その他治療の延期・中止等での収益減少を余儀なくされています。国の支援策ではまだまだ不十分で、都道府県では独自の支援策を打ち出しているところもあります（左表）。10兆円が計上された国の予備費の活用も必要です。早急に国会を開いて、第2波・3波に向けた医療提供体制確保への支援が求められています。



【1面から続く】  
ヨンを行っていました。「こんなこと書いてあるけど、この人どうかな」という感じで、チーム全体で頭、体、全てを使い治療に全力であり、本当に大変でした。日本では人工心肺を付けたコロナ患者は2～4週間回して、合併症がなければ70%程度の患者が助かり、アメリカは40%程度だといふ説もあるそうです。「採算が取れない」などの理由であきらめてしまうと聞きませんでした。いま、コロナ対応を徹底し熱心にやればやるほど病院は赤字になります。自分の時間や家族を顧みず、懸命にやっているのに、国からは微々たる助成や援助しかしてもらえないと、何のためにやっているか、憤

りを感じます。  
**休んでも心が休まらず**  
一番大変だったことは、常に「不安」を抱えているということ。自分も感染しているかもしれないという不安と、「人に感染させてしまうかもしれない」という不安から、様々な事を自粛しなければいけません。遊びに行きたい、という思いをすべて我慢してずっと家にいる。何かできることはないかと常に考えてしまう。身体が休んでも心が休まりませんでした。それが一番辛かったです。

**仲間が離職**  
もう一つは、仲間がなくなったこと。一時、重症状態になった患者の対応に一緒にあたり、患者が歩けるまで回復し元気になって、近隣病院へ転院しました。対応にあたった看護師は達成感と共に、普段扱うことの少ない人工心肺（V-ECMO）を2ヵ月回してスキルも身に着けました。しかし、病院の収益悪化で、ボーナス減となり「もうやってられるか」となった仲間が3人やめることになりました。みんなお金の為ではなく、患者のために一生懸命やっている。しかし、生活もあるし、評価されていないと感じ、ぎりぎりだった糸が切れました。これから、このスキルが活かせるときに、ともに頑張った仲間がいなくなるのが

本当に辛いです。  
**必要なのは「人」**  
コロナ対応はとにかく人が必要です。国の進める全国での病床数削減や病院の再編・合理化では、こういった非常事態に対応できないのは明らかです。そして、コロナ対応には、職員のコミュニケーションが不可欠です。少しの気の緩み、連携ミスで曝露してしまいます。働く職員一人ひとりがフレッシュでできる「何か」を見つけてもらいたい。また病院にはその環境を整備してもらいたいと思います。コロナ禍では非常に難しいですが、心に余裕をもって仕事のできる環境づくりが必要と感じています。

### 「言いたい劇場」 小菅りや子



# 平和のこころ世界と繋がって

## —オンライン原水禁世界大会—

原爆が投下され75年となった今年、広島・長崎で開催されていた「原水爆禁止世界大会」はオンラインでの開催となりました。大会の様子は、日本原水協HPにて動画で視聴することができます。

### 世界で広がる 平和意識の高まり

オンラインでの原水禁大会は8月2日に開催された国際会議で始まり、アメリカやイギリス、アジアの国々の平和運動の代表から核兵器禁止条約の署名と批准を迫ろうと訴えました。

### 広島 原爆孤児の証言

6日広島デーでは冒頭、被爆者の山田寿美子さんから被爆体験が話されました。原爆で両親を亡くし、幼少期は兄弟で親戚の家を転々とし心休まる日はなく自殺を考えたこともあったこと、75年経った今なお病気になるのではないかとずっと不安を抱えていることを話され、「核被害を一生持ち続けることが核兵器」と、核兵器禁止条約の批准まであと一歩、世界の人々と向きあっていたいと訴えられました。

体験を語るサロー節子さん



広島デーには、国連の満泉上級代表も発言され、国連が設立当初から核兵器

の廃絶を使命としてきたことや、コロナ禍での教訓があるならば「地球規模の問題には地球規模の解決策が必要であり、私たちは全ての人間の安全保障に焦点を当てなければならぬ」と話され、「より安全かつ安心な世界、核兵器のない世界の実現を皆様に再度誓いましょう」と呼びかけられました。

### 軍備よりも 医療にお金を

国内の運動について、愛知県医労連の矢野彩子書記次長から、コロナ禍での医療従事者の疲弊や、医療機関の減収についても触れられました。政府の補償で働き続けられる環境が必要と訴え、「核の傘にしがみついている場合でしょうか」と米軍基地建設や兵器を爆

買する政策よりも、医療・介護福祉の充実でいのちを守る政策への転換を求めました。

### 禁止条約発効まで あと一歩

9日長崎デーでは、マレーシア国連大使で核不拡散条約(NPT)再検討会議の軍縮委員会委員長となるサイド・モハマド・ハスリン氏や、世界で活躍する多くの平和活動、環境活動家が参加し、核兵器廃絶への共同発展を呼びかけました。「ヒバクシャ国際署名」をすすめる長崎県民の会田中重光共同代表は、目標の長崎県民の過半数50万筆に、1万5000筆まで迫っていると報告され、署名提出まで頑張りたいと話されました。長崎デーでは最後に、「長崎からすべての



広島デー・動画を使った合唱のようす

国の政府への手紙」を発表し、「核兵器禁止条約への署名と批准をすみやかにを行うこと」を求めました。署名は8月18日に新たにモザンビークが行い83か国へ。条約は50か国が批准書を国連事務総長に寄託した90日後に発効となり、現時点で寄託した国は44か国。後6か国で条約発効となります。

## 全厚労ピースセミナー

# 平和活動の意義 歴史から学べた

8月6日原水禁大会・広島デー終了後に、全厚労平和委員会独自でオンラインでの平和学習会「ピースセミナー」を7県30名余の参加で開催しました。

記念講演に全日赤・五十嵐真理子中央執行委員長から「医療労働者による平和運動の意義」について話していただき(講演内容は全厚労ニュース3月号に掲載)、特別報告では、茨厚労・安本真理子さんが茨厚労平和委員会の取り組みを紹介。国民平和大行進に取り組む中で、地域の人と交流を深めるきっかけになり、昨年なめがた地域医療センターの縮小問題の時には平和行進でつながった人たちが署名活動や、議会請願に来てくれたこと。コロナ禍で行進ができない中でも「なくそう核兵器」の横断幕を囲んで各病院で写真を撮ってリレーで繋げることができ、とりで支部では院長・事務長にも署名をしてもらうなど、例年とは違った平和の取り組みができたことを報告されました。

ピースセミナーでは、最後に参加者と記念講演や原水禁大会の感想、平和運動のとりくみについてなど共有し、感想交流としました。



写真で平和のリレーを繋げて

## 参加者アンケートより

- ◎今の時期だからこそ、平和や安全について考えることは、大変有意義なことであると思う。
- ◎患者さんに寄り添った看護を提供していきたい。二度と戦争をせず、戦死をなくしたい。
- ◎今年はコロナのために全厚労全体で平和の活動がなかなかできない状況であったため、全員で「平和」について考える日となって良かったのではないかなと思う。知識不足であったが、ジュネーブ条約=赤十字条約ということを知った。
- ◎なぜ、労働組合が平和活動に取り組むのか、歴史から学ぶことができ、また参加されている皆さんと「平和であること」の大切さを維持するためには不断の努力が不可欠であることを共有することができ、とても有意義なセミナーでした。集会終了後の感想を交流できる時間が、理解を深めるうえで大切な時間であると実感もしたZOOMでのセミナーでした。
- ◎過去に起きたことを忘れず、切り離してはいけないと思う。戦争の体験談を聞く機会が減ってきている中で、想像では追い付かないこともあると思うが、過去・現在・未来はつながっていて、いつでもフィードバックしながら平和活動に取り組む必要がある。

# 頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。  
第155回は福島と岐阜にお願いしました。

病棟看護師として働いています（高田分会・看護委員会副委員長）。

中執になりもうすぐ一年が終わろうとしています。労組活動はまだまだ分からず、海よりも深く山よりも高いです。

職場は、小さな病院で、医師の数も少なく最新医療とは程遠いですが、自分たちの出来ることは何かを常に考え、退院支援にも力を入れています。この決定が一人の今後の人生を左右するため、なるべく多くの患者、家族の思いがひとつになれたらいいな、と常に願います。

私生活では、コロナの影響で子供たちの部活や試合も激減し自宅時間が増えたことをきっかけに、パン作りやキムチ作りなど楽しんでます。これからも仕事に私生活に労組活動に固定観念にとらわれず、日々精進していきたいです。



福島 舟木 裕子さん

岐阜からご紹介させて頂くのは臨床検査技師でありながら臨床検査技師さを出さないニュータイプの臨床検査技師 荒木誠（あらかまこと）さんです。

日常業務では風貌に似合わず（？）、技師長として部署をまとめ、検査室に来られる患者さんの不安を取り除く笑顔が素敵な彼です。

組合活動としては、県中央執行委員長を3期にわたり努め、全国では医療研運営委員で地域医療の大切さを切に語っておりました。また、特筆すべき点は38歳の若さ（？）で県青年部長に就任し、若きリーダーとして剛腕を振るっておりました。

趣味は、ジョギングに始まり、ピストバイク、

最近ではDQWに熱く取り組んでいます。

日常業務、組合業務共に熱い彼ですが、情に厚く、時には涙もろい点もあり…。まだまだ彼は進化し続けます！今後にご期待ください！



岐阜 荒木 誠さん

- ヨコのカギ
- 1 老人の役を演じる俳優
  - 4 「へのへのもへじ」の顔が定番の人形
  - 6 商店……。……。路樹
  - 7 一心太助の職業は……。屋さん
  - 9 短時間で描く写生画
  - 11 奈良・京都・鎌倉
  - 12 太公望が見つめます
  - 13 茶褐色、英語では？
  - 15 まだ乳を飲む幼児です
  - 17 オレ…詐欺にご用心
  - 18 自分の金。……。出版
  - 19 洪水を防ぐために川から分水する水路
  - 22 安倍さんの次はだれ？
  - 23 へや。教……。浴……
  - 24 商品を並べて売る場所
  - 25 結婚の約束。……。指輪
- 当選者は3・5倍（クロスワード・間かせて、読者の声計15名当選）でした。

## ザ★クロスワード

出題▶モロゾミ勝

1	2		3	4	5
6		7	8		
9		10		11	
	12		13	14	
15		16	17		
18		19	20		21
	22			23	
24			25		

答 A B C D E F

- 【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？
- タテのカギ
- 1 「京（けい）」より速いスーパーコンピューター
  - 2 9月の第3月曜日
  - 3 お化けが出るのは……も眠るうし三つ時？
  - 4 漢字から作られた文字「動物記」の著者
  - 5 曲線……。多い山道
  - 10 ウサギがモチをついているかな？
  - 11 W H O の定義では65歳以上の人
  - 14 首都はピエンチャン
  - 15 地下の反対語
  - 16 間違った知らせや報道
  - 20 品物を売る人
  - 21 錠をかけること
  - 22 モリ・カケ・ザル

## 読者の声

お家時間が長くなっているのに、今年はベランダ菜園をいつもより充実させています。元気に育っているパジルとパクチーを見て、私も元気をもらっています。（長野）

私は庭の野菜からパワーをもらっています。その野菜をいただくことでエネルギーとなっています。植物の「チカラ」を自分の「チカラ」にですね。（HR）

「大病院がポータスゼロで退職希望者多数」とニュースでやりましたが、政府には「GOTOキャンペーン」なんかよりも、医療崩壊をさせないことに注

力していただきたいです。（愛知）

このニュース激震が走りました。ですが、GOTOキャンペーンを否定はできません。観光を生業にしている方々にとってはありがたい話。まさに表裏一体。全員が得をする施策は難しいですね。（KS）

いま出来ることから現場を変える！その通りだと思います。大変な中、現場の声が届くよう頑張ってください。（広島）  
現場を変えることはとても大変だと思いますが、現場の声を届けることは現場を変える第1歩ですね！！（SN）

ハラスメント問題の記事がありました。自分は大丈夫と思っただけで、明日は我が身で、自分が被害者にも加害者にもなり得ると思っただけで、職場環境は大事だと改めて感じました。（富山）

受け取り側がどのように捉えるかで身に覚えがなくても加害者になりえます。日頃からのコミュニケーションが大切ですね！被害にあつたらすぐに誰かに相談しましょう！（KU）

病院ではコロナ対策で入院担当、外来担当など分けています。とても働きやすいですが、旅行に行けないのは残念なので早くコロナが終息することを祈るばかりです。（三重）

政府が税金1兆3500億円でGOTOをやっても、医療・介護関係者や感染を広めないために自粛している人には何も恩恵がない。血税の使い方には憤りを感じますね。（OK）

## 医労連共済で備えよう

私たちの労働組合には、入院・休業、まさかの死亡などを支えあう制度=医労連共済があります。

新型コロナウイルスが猛威をふるっており、不安に感じている方も多いかと思えます。医労連共済は、病気休業などに備えて、安い掛金で大きな保障ができる制度です。

### 新型コロナで陽性になった場合

入院 (1日目から給付) <b>11,000円/1日</b> ※指定感染症で「不慮の事故」として加算されます。	月掛金 <b>2400円</b>	休業 (連続5日目以上から給付) <b>5,000円/1日</b> ※医師の安静療養の指示が必要です。
--	---------------------	--

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。



読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品（図書カード又はクオカード）は必須事項です。質問1・2は、聞かせて・教えてのコーナー掲載号で使用します。

## 教宣部のつぶやき

ちよつと前から、夫婦でウクレレを始めました！毎日練習はできないので上達はかなり遅いです。汗が、楽しんで頑張っていると思っただけで、夫は既リタイア！？コロナウイルス感染症でこんな大変な時期で外へ出られない時だからこそ、何かを始める。いいですね。（SN）